

入学式や入社式のある新年度。4月は『新しい何かが始まる』月。なんとなく心もウキウキします。

4月1日、Kさんのお誕生会。お祝いのちらし寿司に飾る錦糸卵、焼いてくれるのはIさんです。吾も紅では利用者さんにも台所に立ってもらいます。

長年にわたって主婦をされてきた皆さんお手の物。職員より上手に焼いてくれるのです。



Iさんより「浄円寺の東屋から見る風景は格別」と教えられ、歩ける方でチャレンジしました。この吾も紅の近くにあるお寺、石段が長く、さらに東屋に行くには舗装されていない道を上らねばなりません。普通の高齢者施設は諦める…が、吾も紅は決して諦めません！

登り切ったところにある大きな桜、そして眼前に広がる松山市の遠景をご覧ください。

自分の体を使って、汗を流して上らなければこの雄大な景色を眺めることはできません。

今年の桜はこれで見納め、最後にとっても満足した気分でした。



さて、桜が終われば藤の花、そして牡丹の季節です。

8日「藤の花見」に「庚申庵」に行きました。ここは市内でも穴場スポット。

素晴らしい庭園なのに、あまり人がいないのです。住宅街にあるため、駐車した場所から少し歩きますがそれも良い運動に。皆さん緑の庭で藤棚をはじめとする色とりどりの花にため息をつきます。「ちょうど明日から感染防止のために閉園するんですよ、皆さん運がいいですね」と解説してくれた市の職員さんに言われました。

20日、21日は浄瑠璃寺の牡丹見物。満開の牡丹はやはり百花の王。

ここも穴場で、平日の昼間は誰もいません。境内の花をゆっくり見ることができました。

美しい花は心の薬。皆さんとても良い笑顔を見せていました。

このほか、12日は繁多寺、13日には浄明寺に、15日は和気・高浜方面にドライブに行きました。

27日は重信川の鯉のぼりを見物に。川岸にずらっと並んで泳ぐ鯉は圧巻です。

一足早く5月を先取りした気分での心の洗濯。

巷では感染症が広がり暗い世相ですが、せめて

「最大のバカンス」である老年期にある

皆さんには、鬱々した気分を忘れて過ごしていただきたい、穏やかな日々を送ってもらいたい。

そんな願いを胸に今年の春を過ごしています。

